

発言者	発言内容
事務局	<p>本日はご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。それでは、時間になりましたので、社会教育委員会会議を開催します。最初に、本協議会は、「山陽小野田市執行機関の附属機関における審議会等」に属しますので、「会議の公開に関する要綱」により、議事録を市ホームページで公表させていただきますことをご了承ください。また、要項に載せております「本委員会規則」にありますように、本日は委員の過半数の方にご出席いただいておりますので、本会議が成立しますことをお伝えしておきます。</p>
事務局	<p>続きまして、教育長よりご挨拶申し上げます。</p>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 27 年度からの大きな改革（公民館の運営、学校・家庭・地域の連携） ・ 今後ますます求められる社会教育 ・ 社会教育委員としてそれぞれの立場で実践を重ねることの重要性等に触れながら挨拶。
事務局	<p>「それでは、委員長にご挨拶をいただきたいと思います。委員長お願いします。」</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「コミュニティの在り方」「命の尊厳」等、最も基本であり、大切にしなければならないことが失われつつある現状 ・ これらの課題を社会教育の立場でいかに解決していくか。これが課題であること <p>等に触れながら挨拶。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、以降の議事は会議規則にのっとり、会議の議長は委員長にお願いしたいと思います。では、委員長お願いします。</p>
委員長	<p>それでは早速ですが、議事に移りたいと思います。議題（1）について事務局から説明をお願いします。</p>
社会教育課長	<p>平成 27 年度社会教育予算（臨時）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新年度社会教育関連事業の主なものについて、査定結果を報告。
委員長	<p>続きまして、議題（2）について、事務局から説明をお願いします。</p>

<p>社会教育 課長</p>	<p>平成27年度からの公民館の運営について 次年度からの公民館運営について、事務局が説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前から変更される点 ・人づくりの実践、学校を中心に行われる支援活動のコーディネート、これらを町づくりへ波及させること <p>上記に対する意見交換を行った。</p>
<p>委員長</p>	<p>続きまして、議題（3）について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>「地域協育ネット」及びコミュニティ・スクールの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度から導入されるコミュニティ・スクールをはじめ、学校支援地域本部事業や「地域協育ネット」の推進等について事務局が説明した。 ・実践事例の紹介～DVD視聴 地域住民における学校支援活動に関する内容のDVD（はつらつ山口っ子協働への歩み～地域ぐるみで子どもを育む動きづくり～平成26年12月21日放映分）を視聴した。 ・引き続き、「今後の社会教育委員会議のテーマ」について、3グループに分かれてワークショップを実施し、その後発表を行った。
<p>（グループ協議の結果発表）</p>	
<p>家庭支援 グループ</p>	<p>読み聞かせを行っただけで終わらせない仕掛けについて話がありました。実際に実践されていることをお聞きしました。「参加したお母さん方同士で読み聞かせ」をする。お母さん方は生き生きしているとのことでした。終わった後も残って話をする等、それだけお母さん方がつながる場になっていると。読み聞かせ単発で終わらない仕掛けをされているそうです。こうやって支援に関わっている人達、参加する人達の年齢層が多様化してくるといいねという話になりました。学校支援というどうしても年齢の高い方が多い傾向にありますので、いろいろな年齢層が集うようになると活動にもバリエーションが出てくるのでは、という話でした。この他、赤崎で実践されているものとして、「公民館と児童館を連携させている」というものがあります。夏休み、公民館で講座を開いた後に、そのまま終わらせないで、その後は児童館に行き、ソーメン流しに参加するといったもので、児童館の子どもたち以外の子の参加が、公民館活動を通じて広がっているというものでした。しかも親子で参加している。最後に雑談の中で出てきたのですが、学習支援という言葉が盛んに出てきます。学習支援も大切ですが、「しつけ、礼儀、マナー。マナー支援」というのでしょうか。勉強だけでなく、こういうこともやっていったらいいんじゃないのか。例えば公民館で「お茶」とかそういう日本文化で礼儀作法をやっている方々を「地</p>

	<p>域協育ネット」の仕組みを活用し、派遣して礼儀を教えていく。そうするなかで「マナー日本一」の町になっていけば面白いのではないかという話にまとまりました。動作もですが、言葉のマナーもやっていくと。最近、「親子でマナーがなっていない」とそういう声もあります。そこで、まず子どもから変えていこうということです。公民館を通じた学びで「マナー日本一の町」をめざそうと、そういう意見でした。</p>
<p>地域ぐるみで取り組む活動グループ</p>	<p>「あいさつ運動、声かけ運動」という内容について話し合いました。はじめに「見守り活動」のごことから話したのですが、花火を打ち上げるようにドーンとやったとしても、それは長続きしない。息の長い活動にしようと思えば、それぞれの人ができることを自由にやっていくというのがいいのではないかとということで、登下校の時間帯に合わせて「犬の散歩をする」とか「買い物に出る」「庭仕事をする」そしてその時に見守りをするといったことです。また、その見守りのときも普通の服装だと変な人と思われそうな気がするのですが、ジャンパーを着たり帽子をかぶったり腕章をしていけば、声も掛けやすくなるのではないかと。また、車で出かける人は車に（見守りの）ステッカーを貼って出るとか。そしてこういったことに「関心がある人は結構居る」みなさん関心はある。でも、この関心があるといったことを「どのように活動に結び付けていくか」これが難しいのではないかと。「いいことですね」という方はいるけど、活動に結び付けることが難しいのではないかとということでした。そのためにも「こういうことをやっているよ」という報告をする。こういうことをやっていますから皆さんもやってくださいとお願いをする。またキャンペーン的なこととして、毎月15日にはみんながザッと外に出て、見守りをする、声をかけるということをやってみてはどうか。その時にPTAを巻き込んで、とにかく毎月15日はみんな外に出る日にする。毎月15日は声をかける、あいさつをする日にするといったような意見が出ました。</p>
<p>地域ぐるみで取り組む行事グループ</p>	<p>地域によっては「地域行事がとても盛んなところもある」ということで、住民が少なければ、いろんな行事に参加しないといけないので大変な面もあるとのことでした。学校行事でなく、地域行事にPTAが参加している実情があるという話も出ました。「活力あるコミュニティ」というテーマではあるが、すでに7割以上の活動が地域で行われているということでございました。またコミスクや他校区との話の中で連携した活動の話が出れば、祭りやイベントをやっていくとのことでした。また他の地区での動きとしては「新しいものをやっていくのではなく、今ある行事を整理してやっていく」といった説明をいただきました。また、今後コミュニティ・スクールを進めていくために、小学校や中学校においても組織づくりをやっていくということでもございました。</p>
<p>委員長</p>	<p>次年度の中四国大会（山口大会）について連絡し、協力を依頼した。（山口大会 平成27年11月19日、20日 山口市）</p>

事務局	次回の会議は7月以降に開催することを連絡した。
社会教育 課長挨拶	(課長挨拶) ・ワークショップでの積極的な姿勢やそれぞれの立場から意見をいただいたことへの感謝 ・新年度に向けて更なる協力依頼 ・これまでいただいた支援への感謝 等を交えながら挨拶。